



令和6年度

福島っ子ベース



『第1回福島っ子ベース』（7/13）

1. テーマ

①「こども・子育て」、②「出会い・結婚」、③「住みたいまち」の3テーマで実施。
結婚や子育て支援制度について学びながら、思っていること、感じていることを自由に話し合いました。

2. 主な若者の意見（イメージなど）

①『こども・子育て』について

- ・経済的な不安、心配が大きい
- ・子育ては大変で、家事・仕事と両立ができるか不安
- ・育児家事は夫婦で分担するもの
- ・男性が育児休業を取りやすい、定時で退勤できるような働く環境が大切
- ・こどもが安心安全に過ごせる環境が大切（遊び場など）
- ・不妊治療や産後ケアが大切
- ・こどもをもつこと、子育てについてネガティブな情報ばかりが目立つ

②『出会い・結婚』について

- ・結婚、その後の子育てにもお金がかかる（早く結婚したいが奨学金の返済が・・・）
- ・結婚は自分の時間が減り、また、生活リズムが合わなそう
- ・SNSの情報でネガティブなものが多く、結婚への不安が大きくなる
- ・社会人は出会いの機会が少なく、気軽に同世代と交流できる場が必要
- ・若い世代の低所得者への支援の充実
- ・マッチングアプリ利用に抵抗は少ない

③『住みたいまち（福島市）』について

- ・自然が豊かで日用品など生活に困ることがなく、人が多すぎず、治安が良く住みやすいまち
- ・若者の活気がなく、活躍の場が少ない印象（中高生の頃の過ごし方が地元定着に影響）
- ・進学や就職、習い事の選択肢が少なく、自分だけでなく、自分の子どもにも影響してくる
- ・交通アクセスは良い点も悪い点もある（首都圏へは容易に行けるが、市内の移動は車が必須）
- ・商業施設がなく、高校生、大学生が駅前に行く理由がない



当日の感想

- ・実際に参加して知らなかったことも多く、自分自身の学びになりました。
- ・他の人の意見も聞いて視野も広げる機会になり、参加してよかったと感じました。
- ・たくさんこのようなワークショップが増えたらいいなと思いました。
- ・笑いを交えながら参加することができ、互いに正直な意見を交換し、大変勉強になりました。
- ・市の施策を紹介する時間を設けていただけたことが参考になり考えやすかったです。
- ・立場や考え方によって違った価値観を得られたのでよい機会になりました。
- ・ワークショップなど初めて参加したのですが、話しやすい雰囲気で楽しかったです。



『第2回福島っ子ベース』（8／26）

1. テーマ

「共育てについて～夫婦・家族・職場・地域～」をテーマに実施。
若い世代が将来、こどもを持ちやすい、子育てしやすいと思える社会について一緒に考えました。

2. 主な若者の意見（イメージなど）

夫婦・家族の役割

- ・子育ては夫婦が協力が当たり前（イクメンの言葉がなくなればいい）
- ・夫婦はこどもの育ちを一緒に楽しめる関係
- ・両親など頼りやすく、快く協力してもらえる関係がいい
- ・祖父母世代の子育ての常識をアップデートする必要がある

企業の役割

- ・育休を取得しやすいよう、働く人を増やす、専用の部署をつくる
- ・育休を取得する人が気を使わない職場の環境、雰囲気が大切
- ・育休後の職場復帰しやすい環境づくり（復帰後は時短、カバーしてくれた同僚が休暇を取るなど、お互いのことを思いやれるといい）
- ・高い給与、育休や有休が取得しやすい職場環境

地域の役割

- ・地域に子ども食堂などの集いの場が多くあるといい
- ・子どもが（大人も）遊べる場所が多くあるといい
⇒若い世代が子どもたちの姿を見て、子育てに良いイメージを持ってもらう
- ・地域の人が手を差し伸べてくれる社会になったら嬉しい
- ・公園で色々な人と関わりたい（親同士、子ども同士のコミュニケーション）

当日の感想

- ・他の人の意見をたくさん聞くことができ学びになった。
- ・身近なことに関心を向けることができ良い経験になった
- ・普段はあまり考えない将来のことについて考えることができ、楽しく、とても良い機会になった。



『第3回福島っ子ベース』（1/17）

1. テーマ

「若者の社会参加・活動・交流」をテーマに実施。
若者が『社会』や『人』との繋がりについてどう思い、感じているか話し合いました。

2. 主な若者の意見（イメージなど）

思っていること、経験したこと

- ・人との繋がりは必要で、大切（助け合える、成長しあえる！）。
- ・まちを活性化していくためには、人と人が繋がっていく必要がある。
- ・SNSだけではなく、対面でのつながりを求めていると思う（自分は対面がいい）。
- ・ボランティアなど、活動に参加する「はじめの一步」が難しい。
- ・ボランティアがきっかけで、福島での人との繋がりが大幅に増えた！
- ・1人暮らしのときに、病気になってとても困った（助けともらえる人がいなかった）
- ・新しいつながりから、新しい知識を得られ、自分の成長につながった。
- ・学校や家族以外に、頼れる人や話せる人がいると楽になった。
- ・人との繋がりがさらに繋がりとなっていく（今日の福島っ子ベースも！）。
- ・子ども食堂に関わったことで、大学生やこどもと話す機会が増え、視野が広がった。

当日の感想

- ・このような機会はためになるので、友人を誘ってまた参加したい。
- ・あまり口にしたり、話し合う機会がないので充実した時間だった。
- ・様々な意見を聞いたり、共感することができたりと楽しい時間だった。



若者の社会参加に向けて

- ・社会人になっても気軽に参加できる場所や雰囲気づくりをして欲しい。
- ・地域の人が集まれる場所や若者同士が繋がれる場やイベントがあるといい。
- ・県外に出た人と繋がれるプラットフォームがあるといい。
- ・隣人の人と話せる（近隣住民と関われる場）や若い人が集まれる場が必要。
- ・地元のお祭りや運動会など、誰でも参加できるような敷居の低いイベントがあれば社会参加や人との繋がりのきっかけになる。
- ・ボランティアなどの情報を知るきっかけが少なすぎる・・・

